

この日、何の日?

「FUNKYの自慢」は60年以上も続いている長寿番組です。当初は「のび自慢素人音楽会」というタイトルで、NHKラジオで放送されてきました。始まりは1946昭和21年1月19日。NHKはこの日を記念して「のび自慢の日」としました。

今でも競争率が12倍を超える人気番組ですが、第1回の応募者は900人で予選通過者は30人。競争率はなんと30倍の超難関だったようです。この難関を突破して出場した人の中には歌手デビューを果たした人もたくさんいます。坂上二郎さん、北島三郎さん、五木ひろしさん、森進一さん、島倉千代子さん、倍賞千恵子さん、

さんもその一人です。放送開始の年にはあの美空ひばりさんが予選を受けました。当時の9歳だった美空さんが赤いドレスで歌ったのは「ロンロの唄」。しかし結果は不合格でした。

審査員はとても悩んだそうです。歌のうまさも文句なしでも選んだ歌が子どもらしくない。非教育的だ。真つ赤なドレスもいただけない。というわけで合格にできないとひばり母子に告げたのです。

翌年の春、古賀政男さんに歌を聞いてもらおう機会を得て、古賀さんの「悲しき竹笛」をアカペラで歌うと、君はのび自慢のレベルじゃない。もう立派に出来上がった」と激励されたそうです。天才にふさわしいエピソードですね。

おめでとうございます

日々楽々をご購読の皆さまに恒例のビンゴゲームを始めます。昨年当選されました方、おめでとうございます。今年もお楽しみに！！

今回も、発表数字6個+1個。プラス1個は、新聞の中に掲載いたしますので、毎回お見逃しなくご覧ください！！

景品は奥様に好評な家事の必需品『洗剤セット』



当選数は6人までとさせていただきます。先着順になりますので、お早いご連絡をお願いします。(一軒あたり一枚発行のみとさせていただきます)

平成24年第1回目の数字は... 当選者の方は、事前に弊社にご連絡ください。商品は、受け取りに来てください。ビンゴにならなかった方には粗品プレゼント！！

1・66・2・35・4・41・? お正月企画としてさらにもう1つ発表！！

リフォームもできる身近な水道屋さん
浅間設備工業株式会社

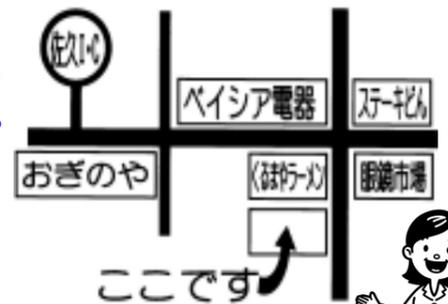
☎ 0267-67-4130

FAX 0267-68-5831

E-mail info@asamasetubi.co.jp

http://www.asamasetubi.co.jp

住所 佐久市岩村田住吉町159-3



いつでも
お越しください



平成24年1・2月号 第52号

にこにこ新聞 日々楽々

浅間設備工業(株):発行

明けましておめでとございませう。皆様、清々しい新年をお迎えのことと思います。

お正月の華やかな気分も寒の入り(小寒)を過ぎる頃には落ち着いて、日常が戻ってまいります。二十四節気の「小寒」の次候にあたる「十一月十五日頃」は、七十二候の「氷泉動」。ひみずあたたかさをふくむと読みます。ちょうど二年でいちばん寒い時季ですが、地中では陽気が生じ、凍った泉では少しずつ水が動き始めているという様子を表す言葉が「氷泉動」です。

あたり一面が冬枯れた晩冬の景色には、「見、生命の躍動を感じさせるものは何もありません。しかし、身がすくむような寒さで凍った地面の下では、ほんの少しずつ春に向けた準備が始まっています。

す。目には見えない自然の變化を見逃さず、「氷泉動」と表現した先人の鋭い観察眼。文明の発達と引き替えに私たちがこころした細やかさを失いつつあるとしたら、残念であり寂しくもあります。

日本語の「文明」と「文化」は同じように使われますが、この二つは似て非なるものであると考えているのは生物学者の福岡伸一さんです。

福岡さんいわく、文明は人間が自分の外側に作りだしたある仕組み。電気、ガス、水道、エアコン、ケータイ、インターネットなど、私たちが豊かにして、便利や快適や効率を追及するために作られたものが文明です。

一方の文化とは、人間が自分たちの内部に育ててきた仕

組み。私たちの歴史と共にあり、土地に依存して風土に寄り添い、私たちの生命を守って生活を支えてきたものを、福岡さんは「文化」と呼びます。自然と共存しながら快適に暮らすための知恵ともいえますね。

こうして「文明」と「文化」を分けてみると、現代はずいぶん「文明」寄りになっているようです。バランスが崩れた分、しっぺ返しのような災害や人災が起り、今のままで「はまずいかな」と考える人が増えました。

漠然とした不安を抱えている日本人に、しっかりと目を開いて前に進もうと思わせてくれたのは、昨年の十一月に来日したブータンの国王夫妻です。ワンチュク国王とシェツ

ン・ペマ王妃の温かいお言葉や慈悲深いまなざしは、「文明」を優先してきた私たちに「文化」の大切さを改めて教えてくださったように思います。

しみずあたたかさをふくむ。厳冬でも地中に春が眠っているように、先人から受け継がれてきた文化は私たちの中にあります。自然がゆっくりと春に向かっていくようにもう一度文化を見直したい。そんなことを考えた新年でした。

水泉動(しみずあたたかさをふくむ)

